

国文学者三浦佑之先生とめぐる古代の旅

「諏訪大社四社巡り」と「穂高の御船祭り」 2日間



穂高の御船祭り

【旅のお誘い】

御柱祭で有名な諏訪大社の祭神タケミナカタ(建御名方神)は、出雲から日本海を經由して諏訪に入ったと『古事記』は伝えています。御船祭りという船の祭りを伝える安曇野に住みついた「海の民」安曇氏も『古事記』に神話をもつ一族です。その海の民の勇壯な船の祭りを見学し、神社や縄文遺跡を巡って信州の古代を探ります。

三浦 佑之



旅行代金
9月27日(金)出発2日間
(JR上諏訪駅集合/JR茅野駅解散)

¥ 62,800- (2名一室利用の場合)
(お一人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥6,000にて承ります。)

| 日時 | スケジュール | 食事 |
|------------------|--|--------|
| 1 9/27 (金) | JR上諏訪駅集合(10:20)～諏訪大社下社秋宮～諏訪大社下社春宮～(昼食)～塩の道/穂高神社「お舟祭り」～ホテル(17:45頃) ※夕食前に三浦先生によるミニ講義(30分) いろはグランホテル松本駅前泊 | 昼 夕 |
| 2 9/28 (土) | ホテル発(08:00)～諏訪大社上社本宮～諏訪大社上社前宮～～八剣神社～手長神社～(昼食)～中ツ原縄文遺跡～茅野市尖石縄文考古館～JR茅野駅(16:30頃着) | 朝 昼 |

※上記日程は天候・現地事情・交通事情等により変更になる場合がございます。

【講師:三浦佑之先生プロフィール】
千葉大学名誉教授。『古事記』を中心に古代文学・伝承文学に新たな読解の可能性をさぐり続けている。著書に、『浦島太郎の文学史』『神話と歴史叙述』『口語訳古事記』(第1回角川財団学芸賞受賞)『古事記を読みなおす』(第1回古代歴史文化みやざき賞受賞)『古代研究』『風土記の世界』『ゴジオタ(古事記学者)ノート』など。

★旅行条件＜募集要項＞＊会員・一般同額

- 旅行期間:2024年9月27日(金)～2024年9月28日(土) 1泊2日
- 旅行代金に含まれるもの:朝食1回・昼食2回・夕食1回 専用バス代・見学費・講師費用・添乗員費用
- 募集人数:30名(最少催行人数15名) ■募集締切日:2024年8月27日(火)＊定員になり次第締め切りとなります。
- 集合解散場所: 集合:JR上諏訪駅 解散:JR茅野駅 ■添乗員:集合(JR上諏訪駅)から解散(JR茅野駅)まで同行いたします。
- 宿泊先:いろはグランホテル松本駅前(1泊) ■利用予定バス会社:柿木観光バス(株)(大型バス利用)
- 企画監修:NHK文化センター 青山教室・町田教室・さいたまアリーナ教室

*催行決定となりましたらご連絡させていただきます。集合解散場所までの交通手配等をお願いいたします。

●ご参考交通スケジュール(最新のスケジュールはお客様にてご確認ください)

- ★往路 あずさ5号 新宿08:00→立川08:25→八王子08:34→上諏訪10:12
- 復路 あずさ46号 茅野16:59→八王子18:31→立川18:40→新宿19:06

主な訪問先

諏訪大社
(上社本宮・上社前宮・
下社秋宮・下社春宮)

お諏訪様と呼ばれる諏訪神社の総本社。上社と下社があり、上社が本宮(諏訪市)・前宮(茅野市)、下社が秋宮・春宮(共に下諏訪町)に分かれる二社四宮で鎮座しています。本宮は建御名方神を祭神とし、古くは風の神、水の神、農耕・狩猟の神として信仰を集めていました。中世以降は東国第一の軍神として崇拝され、名将たちが全国各地に御分霊を持ち帰ったとされています。そのため全国に一万余りの御分社が祀られています。諏訪造りと呼ばれる本殿をもたない建築様式で、社殿は国の重要文化財に、社叢は県の天然記念物に指定されています。



穂高神社「御船祭り」

船型の山車に穂高人形を飾った大小5艘のお船が笛や太鼓の囃子(はやし)のにり、氏子衆によって神社へと曳き入れられます。勢揃いした御船のきらびやかな様子は、歴史絵巻を見るかの様です。お船の起源は穂高神社の祭神が安曇族の祖神(おやがみ)であり安曇族は海洋に親しみ海運を司っていたこと、大將軍安曇比羅夫の船師を率いての百済救援、又氏族の朝廷での活躍などで、平安時代の標山や室町時代の神座の山車等に原形を見ることができます。

手長神社

手長神社は下桑原(大和・小和田を除く上諏訪地区)の氏神、手摩乳神(てなづちのかみ)をお祀りする古社。ご鎮座の起源は古く詳らかではありませんが、諏訪湖の東側一帯は旧石器・縄文時代の遺跡が点在しており、いにしえ人の生活、土地の神に祈りを捧げてきた信仰を彷彿させます。

尖石縄文考古館

茅野市内で発掘された縄文時代の土器や土偶などを展示。市内から出土した「縄文のビーナス」と「仮面の女神」は、それぞれ国宝に指定されています。隣接する尖石遺跡には、遺跡の名前の由来となった石、「とがりいし」が、与助尾根遺跡には、縄文時代の竪穴住居を再現し、史跡公園として整備をしています。

ホテル

いろはグランホテル松本駅前

自然と調和した心地よいモダン空間をコンセプトに、旅先での快適なホテルライフをご提供いたします。国宝である「松本城」「旧 開智学校」へは徒歩圏内、道中「中町通り」や「なわて通り」といった松本ならではの蔵の街も散策できます。

